

河川の用語を知ろう

河川はじめの一步(その1)

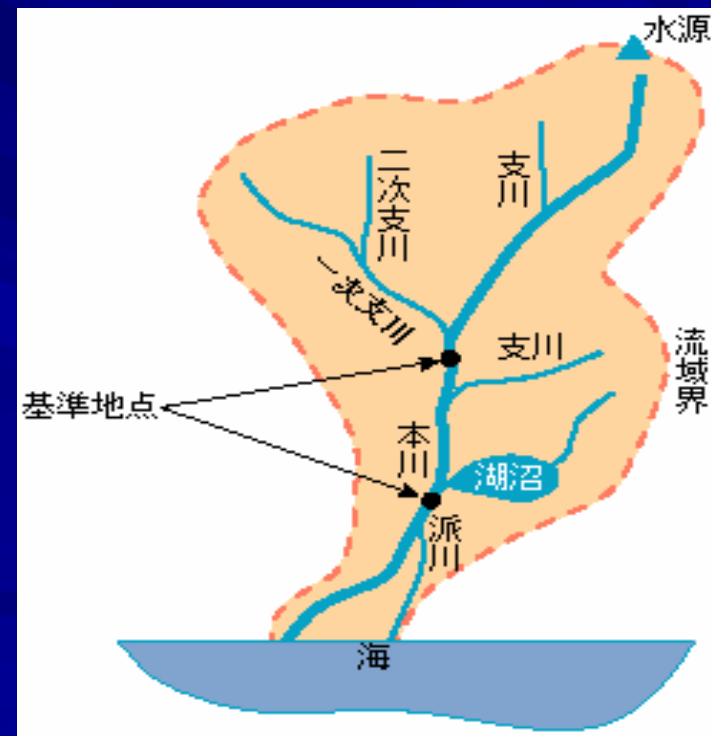
水系とは: 同じ流域内にある本川、支川、派川及びこれらに関連する湖沼を総称して「水系」といいます。

流域とは: 降雨や降雪が、その河川に流入する全地域(範囲)のことです。

本川とは: 流量、長さ、流域の大きさなどが最も重要と考えられる。
あるいは、最長の河川です。

支川とは: 本川に合流する河川。本川の右岸側に流入する支川を「右支川」、左岸側に流入する支川を「左支川」と呼びます。

派川とは: 本川から分かれて流れる河川です。



河川はじめの一步(その2)

堤防とは:はん濫危険水位(H. W. L)以下の水位の流水を安全に流下させることを

目的に、左右岸に築造される構造物。構造は、ほとんどの場合、土堤です。

右岸、左岸:河川を上流から下流に向かって眺めた時の右側を右岸、左側を左岸

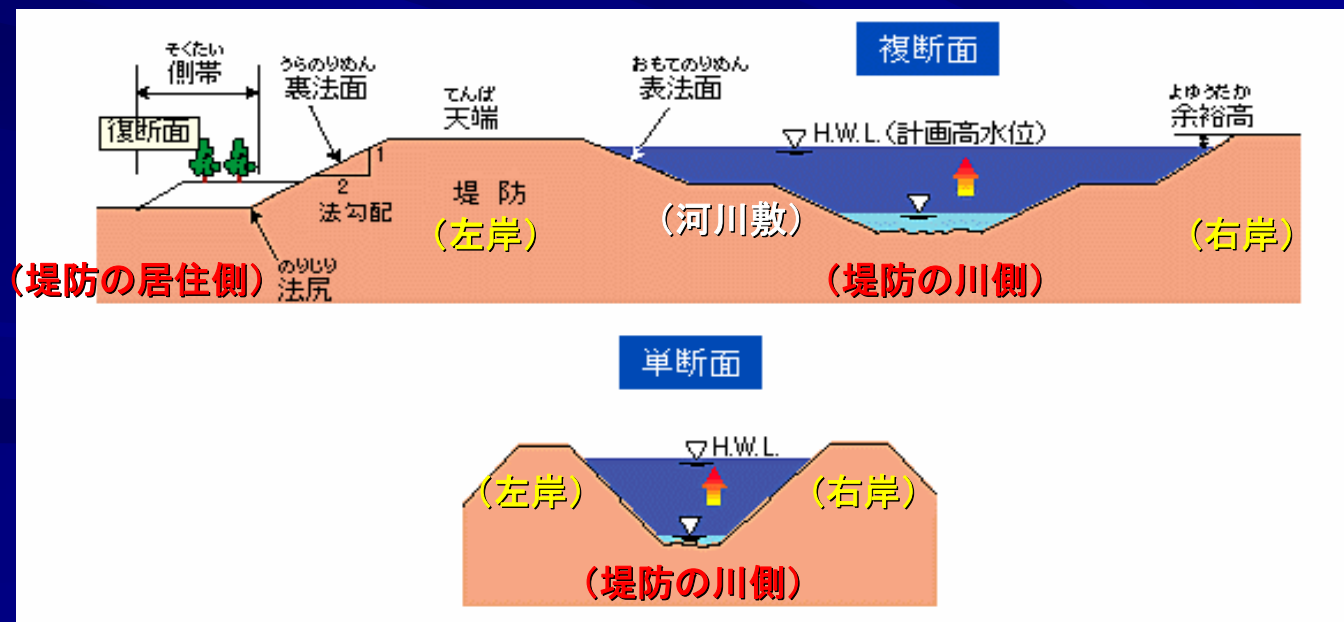
川側、居住側:堤防を境に、水が流れている方を川側、住居地などがある方を居住側

河川敷:複断面の形をした河川で、常に水が流れる低水路より一段高い部分の敷地

通常は、グランド等に利用されますが、大きな洪水では、水に浸かります。

堤防の居住側、堤防の川側:堤防により洪水氾濫に守られている住居等側を堤防の

居住側、堤防に挟まれ水が流れている側を堤防の川側と言います。



河川はじめの一步(その3)

護岸：流水による侵食から河岸や堤防を守るために設けられる施設で、コンクリートなどで覆う構造の施設を言います。

根固工：洪水時に河床の洗掘が著しい場所において、**護岸基礎工前面の河床洗掘を防止**するために設けられた施設を言います。

床固め・床固工：河床の洗掘を防いで**河川の勾配を安定**させるため、河川を横断して設けられる施設を言います。

